

# 令和6年度 学校教育自己診断結果分析

## 1 学習指導

生徒：学校に対する肯定的回答は83%から79%となり、前年度より4ポイント減少しているが、授業については「わかりやすく楽しい」が76%から77%と前年度と同様な回答があった。教科指導の対応については、「丁寧に対応してくれる」79%と同じ値で推移している。ICT活用は83%昨年引き続き高い評価となった。

### 【分析】

リーディング GIGA ハイスクールの指定を受けてから、校内研修等を進め、教員が授業内容の工夫・改善に努めたことで、さらに授業が生徒にとってわかりやすく楽しいという肯定的回答が大幅に向上したと考えられる。

今後も授業改善や教科指導が向上するように努める。

## 2 生徒指導

生徒：学校生活内で、「挨拶ができています」に関する項目は83%から90%と7ポイント減少となったが、多くの生徒が社会へと移行していく中で、教育活動全体を通じて、「挨拶」に重点を置きながら引き続き指導している。早朝登校指導で、教員と生徒会が連携し、挨拶の啓発を続ける。

### 【分析】

早朝登校指導で「挨拶運動」を引き続き行い、様々な機会を通じて、挨拶の啓発に努めていく。

## 3 防災教育

生徒：地震や火災などへの行動対応については、肯定的回答が78%と、昨年度より5ポイント減少となったが、日ごろからの防災に対する意識を高められるように努めていく。

### 【分析】

昨年に引き続き避難訓練が集合型で実施でき、生徒の防災意識が高まり、また体感することができたと考えられる。今後は生徒の防災意識の向上を図っていくことも注視し取り組んでいく。

## 4 人権教育、生徒相談体制

生徒：いじめに対する相談体制については、肯定的回答が81%となり、昨年度より3ポイント減少しているが、「悩み相談に応じてくれる先生が多い」については、80%で昨年度と同じ値で推移している。増減はあるものの、肯定的回答は80%以上の評価を維持している。

### 【分析】

年間3回のいじめに関するアンケート調査を含め、教育活動全体を通じて教員が生徒に寄り添い丁寧に指導・支援している成果が表れていると考えられる。今後も外部講師を招くなど、教職員研修等を実施し支援体制の充実・強化に努める。

## 5 キャリア教育

生徒：進路指導体制やガイダンス関係について肯定的回答は、81%となり昨年度より5ポイント減少している。

### 【分析】

本校のキャリア教育は、企業との連携や様々な学習機会を通して生徒の進路選択をサポートする体制が整えられている。今後も肯定的回答が増加するように、1年生からのガイダンス機能の強化と企業説明会等の進路行事の充実に努めていく。

## 6 ICT 機器の活用

生徒：授業での ICT 機器の活用について肯定的回答が 89%となり昨年度より4ポイント減少している。

### 【分析】

教員も ICT 機器を積極的に活用し、指導内容の工夫・改善に努めている成果が表れていると考えられる。生徒たちの感覚的な活用により近づけるように、電子黒板を搭載したプロジェクター、ホワイトボードの活用にも、さらに ICT 機器の利用方法の改善にも努めていく必要がある。

## 7 保護者の学校に対する学校意識

保護者：「学校満足度」の肯定的回答が 97%で昨年度より6ポイント増加した。また「教員信頼度」の肯定的回答は 89%で8ポイント増加した。「情報提供」の肯定的回答は 99%で3ポイント増加した。

### 【分析】

昨年度より、「学校満足度」、「教員信頼度」、「情報提供」においては、すべて昨年度より増加していることから、教職員の保護者との関係性は良い状態であったと考える。

「学校参画」については、肯定的回答が低迷していることについては、今後も改善の糸口を検討していく。そして引き続き保護者とのコミュニケーションの強化に努める。